



# 芦国の修学旅行



## 6年次【長崎】

4月25日～27日

新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、何度も計画を見直し、仕切り直しをしました。その都度、行き先も変わりましたが、ついに修学旅行を行うことができました。

< 行程 >

- ① 新神戸 ⇒ 博多 ⇒ ハウステンボス
- ② ホテル ⇒ 長崎カステラランド/有田ポーセラーツパーク ⇒ 長崎市内自主研修 ⇒ 長崎伊王島
- ③ ホテル ⇒ 柳川下り ⇒ 柳川藩主立花邸御花 ⇒ 博多駅 ⇒ 新神戸

< 生徒の感想 >

- 修学旅行について一言で表すと「行けて良かった。」です。これは僕だけでなく先生方を含め15期生全員が思っていることだと思います。コロナの影響をもちに受け内容が一転二転したけれど、最終的に行って本当に良かったと思います。普段あまり話さない人とも話すことができ良かったです。2月の中止の時は頭の整理がつかず、わがままを言ってしまいましたが、どうかして僕たちを修学旅行に連れて行こうとしてくださった学年団の先生方、JTBの方々に本当に感謝しています。ありがとうございます。「九州に行った」だけでなく「就学旅行に行けた」までの過程が思い出であり、自分の幼さ浅はかさ気づくことができ、成長するきっかけになりました。
- 実はこの3日の間に私は人生初の体験を3つもしたんです！1つ目は新幹線、2つ目は観覧車に乗ること、3つ目はうな丼を食べること！です。3つとも機会がなかったこともあり、乗ったこと・食べたことがなかったんです。初めてのうな丼もみんなと一緒に食べたことで、倍美味しかった気がします。この3日間、天気が悪くて大変だった時のことも含めてとても幸せな時間でした。どんなことも全て良い思い出になりました。何度も中止になった修学旅行で3日間という短い時間だったけれど、それ以上に濃い時間を過ごせた気がします。今回のように15期生の笑顔が溢れる思い出を増やすためにも文化祭&体育祭、受験など全て思いっきり楽しんで頑張っていきたいと思います。3日間お疲れさまでした。ありがとうございました。
- 自分では時間をしっかり守れたと思います。やっと行けた旅行と共にコロナ対策という大切なことをする必要がありました。ルールや対策をしなかった場合すぐにその結果が出て周りにも広まってしまう中で特に何もなくて良かったです。時間が守れたのは、これらの意識からだと思います。こまめのチェックする癖が時間にもできるようになり、自分たちの班・部屋で時間が守れなかったことがなかったです。今身についたこの意識を浮かれずに学校生活にもつなげていきたいです。最終的には受験にも役立つはずですよ。
- 改めて15期生でよかったなあみんなが好きだなあと感じました。ありきたりだけど、きっと1年産まれるのが早くても遅くても私は馴染めてなかったんじゃないかなと思います。こんな状況でも修学旅行を諦めずにしてくれた、たくさんの大人のみなさまに感謝をいっぱいです。2日目の雨でしおりが水没してしまったので書きにくいですが(笑)。あの雨も良い思い出ですもはや。楽しかったことしかないです。戻りたい。受験やば。あと何か月かふんばります。
- この修学旅行で一番感じたのは、「部屋班をくじ引きで決めて良かった！」ということです。正直これまでそれほど多く話したことはなかったメンバーだったのですが、この旅行のおかげでとても仲良くなり、熱い話や面白い話やボエムなどを聞くことが出来ました。三度目の正直でやっと行けた修学旅行は間違いなく人生で最高の思い出になりました。改めてこの旅行を準備してくださった皆さんありがとうございました。



## 3学年【沖縄】

5月7日～9日

6年次の修学旅行実施の勢いを受けて、昨年度今の4年次がいくことができなかった沖縄へ出かけることができました。本土復帰50周年という節目に、民家生活体験も行うことができました。

< 行程 >

- ① 神戸空港 ⇒ 那覇空港 ⇒ 沖縄県平和記念公園 ⇒ 南風原文化センター ⇒ うるま市 民家生活体験
- ② うるま市 民家生活体験 ⇒ マリンスポーツ体験 ⇒ ホテルむら咲むら
- ③ ホテルむら咲むら ⇒ 首里城公園 ⇒ 国際通り班別行動 ⇒ 那覇空港 ⇒ 神戸空港

< 生徒の感想 >

- 平和記念公園。石碑を見て、改めてこの土地で多くの方が亡くなったという事を実感しました。平和の礎がとてもきれいで、こめられた思いもとても納得するものでした。南風原文化センターでは、戦争の裏側について知ることができました。
- とても怖くて何も言えませんでした。でも戦争は絶対してはいけないとわかったし、お話して下さる人の真剣さからたくさんのことを学びました。
- 南風原文化センターで爆弾のかけらを持たせてもらったり、戦車の上の部分を見たり、いろんなことを学びました。
- 民泊体験は、始めは緊張したけれどとても歓迎されてうれしかったし、料理作りや海中道路沿いで花火をさせてもらいとても楽しかったです。沖縄風の家に泊まれてワクワクしました。
- 民泊では唐辛子を収穫してコーレーグースを作りました。普通は泡盛でつけるらしいですが、ウイスキーでつけた世界に1本をつくりました。20歳が楽しみです。
- ビーチに行ってシーガラスを探し、ネックレス作りをしました。自分だけのネックレスを作れてうれしかったです。別れる時はとてもさみしく、もう1日いたくなりました。



- 民泊はとても楽しかった。いろいろなことを見て、学ぶことができました。塩ファクトリーでは塩の作り方がおもしろかったです。
- 民泊で三線をひきました。入村式での曲をひいてみました。ちょっと難しかったけど、楽しかったです。
- 民泊が始まって、最初に「うるマルシェ」に連れて行ってもらいました。良い意味で思っていたのと違い楽しかったです。家についてからゴーヤチャンプルーをみんなで作りました。ご飯がとてもおいしかったです。
- 民泊の方が「今日は母の日だから生け花をして感謝を伝えよう。」とおっしゃってくださいました。それぞれが作った生け花を写真に撮って、お母さんに送りました。(すてきなプログラムをありがとうございます。)
- 初のシュノーケリングはドキドキしながらしました。水が透き通っていて、とてもきれいで感動しました。魚やサンゴもかわいくて、特にカクレクマノミを見られてうれしかったです。
- シュノーケルが初めてだったけど、海がとてもきれいでアリエルの気分になりました。
- ホテルのエイサー鑑賞ではすごい迫力で感激しました。踊りもかっこよく、太鼓もたけてすごく良かったです。
- 最終日は首里城公園に行きました。世界遺産など見れてよかったです。再建されたら、また行きたいなと思います。
- 班別研修でお昼ご飯にタコスを食べました。4ピース食べました。20ピースくらいは余裕で食べれそうなほどおいしかったです。
- 国際通りで沖縄のお土産や料理店に行けてよかったです。家に帰って、すごく楽しかったと改めて思いました。
- 那覇空港に着いた時は、帰りたくない気持ちでいっぱいでした。しかし帰ってお土産を渡した時、家族が喜んでくれてとても嬉しかったです。

★Google Translator★  
Please install this application so that you can scan and translate this newspaper in your language.



発行 兵庫県立芦屋国際中等教育学校  
校長 磯村 要  
〒659-0031 芦屋市新浜町1-2  
TEL : 0797-38-2293 / FAX : 0797-38-2295  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~ashiyai-ss/index-j.htm>

